

ログイン日時 : 2021年01月04日 00時18分50秒 | 文 景楠 (教員) |

[× ログアウト](#)**シラバス情報照会 照会画面**

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	3232552000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2021年度		
科目コード	5102129920	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 B		
科目英字名称	Reading of Original Texts B		
単位数	1.0		
履修期	後期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	2024295	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	巖谷 睦月		
テーマ	Mary Anne Staniszewski, "Believing is Seeing: Creating the Culture of Art"を読む		
講義内容	<p>Mary Anne Staniszewskiによる "Believing is Seeing: Creating the Culture of Art" は、「芸術とは何か」「それは誰が決めているのか」ということについて論じる書籍である。</p> <p>例えば、旧石器時代の小像である《ヴァレンドルフのヴィーナス》も、ルネサンス期に活動したミケランジェロによるシスティーナ礼拝堂の《最後の審判》も、20世紀に活動したマルセル・デュシャンのレディ・メイドである《泉》も、いずれも「芸術作品」として扱われているのはなぜだろうか。そうした問題について考えてみたい者に向けた講義。</p> <p>なお、本講義は対面形式でおこなうことを予定している。</p>		
達成目標	<p>1) 「芸術というもの」について扱う文章を英語で読む。</p> <p>2) その内容を日本語に訳して文章化する。</p>		
授業計画 第1回	<p>【事前学修】このシラバスをよく読む。</p> <p>【授業内容】授業内容および著者と著書について解説する。授業で扱うテキストを配布し、関連する課題を配布する。</p> <p>【事後学修】テキストを指定されたところまで読み、訳文を作っておく。</p>		
授業計画 第2回	<p>【事前学修】第1回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第1回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。</p> <p>【事後学修】テキストを第2回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。</p>		
授業計画 第3回	<p>【事前学修】第2回の授業で指定された課題をこなす。</p> <p>【授業内容】第2回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。</p>		

	【事後学修】テキストを第3回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第4回	【事前学修】第3回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第3回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第4回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第5回	【事前学修】第4回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第4回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第5回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第6回	【事前学修】第5回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第5回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第6回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第7回	【事前学修】第6回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第6回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第7回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第8回	【事前学修】第7回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第7回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第8回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第9回	【事前学修】第8回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第8回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第9回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第10回	【事前学修】第9回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第9回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第10回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第11回	【事前学修】第10回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第10回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第11回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第12回	【事前学修】第11回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第11回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第12回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。

授業計画 第13回	【事前学修】第12回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第12回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを第13回の授業で指定されたところまで読み、訳文を作っておく。
授業計画 第14回	【事前学修】第13回の授業で指定された課題をこなす。 【授業内容】第13回の授業で指定されたところまでのテキストについての理解を確認し、その内容について必要に応じ解説する。 【事後学修】テキストを頭から通して読み、内容を確認しておく。
授業計画 第15回	【事前学修】確認テストに向けて予習する。 【授業内容】テキストの内容をふまえた確認テストをおこなう。テキストの内容をふまえて、「芸術というもの」について考える。 【事後学修】これまでの授業内容をまとめる。
授業計画 第16回	
授業計画 第17回	
授業計画 第18回	
授業計画 第19回	
授業計画 第20回	
授業計画 第21回	
授業計画 第22回	
授業計画 第23回	
授業計画 第24回	
授業計画 第25回	
授業計画 第26回	
授業計画 第27回	
授業計画 第28回	
授業計画 第29回	
授業計画 第30回	

成績評価方法	第2回-第14回の出席確認の小テスト：2点×13＝26点 第15回の確認テスト：30点 授業への貢献（各回の課題提出3点×13＝39点 訳文の完成度と初回からの進歩を確認の上、最大5点の加点）：44点 より具体的な評価基準は、授業時に公開する。
学修に必要な準備	わからない英単語は辞書で引いておくこと。知らない固有名詞については調べておくこと。
関連して受講することが望ましい科目	特になし。
テキスト	第1回に配布します。
参考文献	必要があれば授業内で指示します。
履修上の注意	辞書は毎回持ってくること。 本書は日本語の訳本が存在しません。英文としては決して難解ではありませんが、扱っているテーマは「芸術というもの」に関する本質的な問題ですので、興味を持っていない場合には多少苦勞すると思います。「芸術」に多少なりとも興味のある人向けです。 また、英単語はその一つ一つが多くの意味を含んでいます。その文脈でその単語がどういう意味で使用されているかをよく考えましょう。 オフィスアワーは授業内で指示します。
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。 【アクティブラーニング科目】 【双方向型授業】
添付ファイル1	説明1
添付ファイル2	説明2
添付ファイル3	説明3
添付ファイル4	説明4
添付ファイル5	説明5
関連URL1	
関連URL2	
関連URL3	

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2021年度	後期授業	木曜 2校時	後期授業	泉) 3 1 H 講義室

カリキュラム情報

項番	学生区分	所属区分	学部	学科	専攻・コース	適用入学年度
1	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2011年度～2011年度
2	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2012年度～2012年度

3	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2013年度～2014年度
4	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2016年度
5	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2018年度
6	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2017年度～2018年度
7	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2019年度
8	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2100年度
9	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2020年度～2100年度
10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2011年度～2011年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2012年度～2012年度
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2013年度～2014年度
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2018年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2018年度
16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2019年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2100年度
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2020年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2011年度～2011年度
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2012年度～2012年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2013年度～2014年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度
23	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2018年度

24	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2017年度～2018年 度
25	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2019年度～2019年 度
26	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2019年度～2100年 度
27	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2020年度～2100年 度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2011年度～2011年 度
29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2012年度～2012年 度
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2013年度～2014年 度
31	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年 度
32	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2018年 度
33	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2018年 度
34	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2019年 度
35	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2100年 度
36	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2020年度～2100年 度
37	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2011年度～2011年 度
38	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2012年度～2012年 度
39	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2013年度～2014年 度
40	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2016年 度
41	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2018年 度
42	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2017年度～2018年 度
43	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2019年 度
44	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2100年 度

45	学部生 学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2020年度～2100年 度
----	---------	-------------	--------	--------	-------------------

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.